

ハッカソン：プレゼンテーションルールブック（成果発表（口頭発表） ， 15点）

| | タイトル | プレゼン構成 | 発表資料（スライド等） | 態度・話し方 | 質疑応答 |
|------------------|---|--|--|--|--|
| ラ ン ク A | 製作したシステムの独創性や有効性に関するキーワードが含まれた上で簡潔にまとめられており、タイトルをただでプレゼンテーションの主旨がわかる。(3) | エビデンスとなるデータや参考文献の提示により、社会的課題の提示から問題の提起・システム提案・システム評価・結論までの展開が論理的で一貫して筋が通っている。適切な量のトピックが整理されて簡潔に盛り込まれている。(3) | システム構成図やシステムの評価結果などが図表を用いて示され、長い文章は書かずに、キーワード、フレーズ、箇条書き等を用いてシンプルに記述している。(3) | メモや原稿を見ずに聴講者とアイコンタクトを取り、聞き取りやすい声の大きさではっきりと発音しながら、必要に応じてジェスチャーを使って発表している。与えられた時間にプレゼンを終えている。(3) | 質問のポイントを理解し、結論から先に述べ、わかりやすく回答できる(3) |
| ラ ン ク B | 製作したシステムの独創性や有効性のキーワードが含まれているが、プレゼンテーションの主旨を誤解する可能性がある。長すぎたり短すぎたりする。(1~2) | エビデンスとなるデータや参考文献の提示はあるが、社会的課題の提示から問題の提起・システム提案・システム評価・結論までの展開が一部不明瞭で、論理的なつながりが弱い。盛り込まれているトピックは適切であるが、一部が過剰または簡略すぎる。(1~2) | システム構成図やシステムの評価結果などが図表を用いて示されているものの、キーワードやフレーズを使用せず、長い文章が書かれているために聴講者の理解を妨げている。(1~2) | メモや原稿を見ずに聴講者とアイコンタクトを取り、聞き取りやすい声の大きさではっきりと発音しながら、発表している。(1~2) | 質問のポイントを大きく外さずに回答ができる。(1~2) |
| ラ ン ク C | 製作したシステムの独創性や有効性に関するキーワードが適切ではなく、プレゼンテーションの主旨を正しく理解できない。(0~1) | エビデンスとなるデータや参考文献の提示はあるが、社会的課題の提示から問題の提起・システム提案・システム評価・結論までの展開が一部不明瞭で、論理的なつながりが弱い。盛り込まれているトピックに過不足がある。(0~1) | システム構成図やシステムの評価結果などが図表を用いて示されていない。キーワードやフレーズを使用せず、長い文章が書かれているために聴講者の理解を妨げている。(0~1) | 聞き取りやすい声の大きさではっきりと発音しながら、発表している。(0~1) | 黙り込むことなく、質問に回答することができるが、内容が的を射ていない。(0~1) |
| ラ ン ク D | 製作したシステムの独創性や有効性に関するキーワードが使用されておらず、プレゼンテーションの主旨が不明である。(0) | エビデンスとなるデータや参考文献の提示がなく、社会的課題の提示から問題の提起・提案システム・評価方法・結論までの展開が不明瞭で、論理的ではない。適切な量のトピックが盛り込まれていない。(0) | システム構成図や作業工程のスケジュールが図表を用いて示されていない。提示される情報が不十分であるために聴講者の理解を妨げている。(0) | 声が小さく、また発音も不明瞭で、何を話しているのか理解できない(0) | 黙り込んでしまい、質問に回答しない。(0) |